

様式D:研究概要説明

[K22053] 製鋼スラグと腐植物質による生態系修復技術の受容性と環境リスクの総合評価
研究代表者 駒井 武(独立行政法人産業技術総合研究所)

研究目標: 製鋼スラグと腐植物質を用いた生態系修復の効果と環境安全性を確認し、生態系修復技術としての受容性に関わる技術指針を作成する。

(1) 製鋼スラグと腐植物質の相互作用
と環境リスクの評価



製鋼スラグ

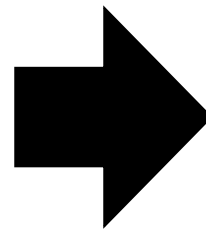
腐植物質

(2) 腐植物質の構造解析に基づく
共存金属の環境挙動



沿岸海域での磯焼けの状況

効果の実証



環境安全性



製鋼スラグと腐植物質を活用した実証試験



生態系(ワカメ、コンブ)の復元

アウトカム
生態系復元
循環型社会
地球環境
産業育成